

## 2) シラバス

## (1)成人看護学

分野	専門分野Ⅱ —成人看護学—	対象学年	1
		時期	前期～後期
授業科目	成人看護学概論 Introduction to Adult Nursing	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	成人期はおよそ 40 年間と人間の一生の中で最も長い時期である。長い年月の中で、成人期にある人は自分のみならず、他者にとっても重要な役割を担っている。社会における役割も大きい。そのような対象にその人にとって最適な健康を促進、維持、増進するための看護を学ぶ。学生自身も成人期にあり、自分自身の生活を考えながら学ぶ。健康観の多様性を学び、成人期の学習の特徴を理解し、効果的な学習方法を計画するためのアセスメントの視点、また、成人期に多い疾患、特に生活習慣病についてその概要や、施策についても学ぶ。様々な看護に有用な理論の概要についても事例を使って学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会における「成人の定義」を理解する。</li> <li>2. 成人各期の特徴を理解する。</li> <li>3. 成人の学習の特徴と看護の関わりを理解する。</li> <li>4. 成人期に見られる健康障害と看護の関わりを理解する。</li> <li>5. 成人期の理解のための看護理論の概略を理解する。</li> <li>6. 成人期における看護の役割を理解する。</li> <li>7. 看護を主体的に学習する姿勢を養う。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 100 点（成人看護学担当教員 93 点 緩和ケア認定看護師 7 点）		
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学【1】成人看護学総論 医学書院 オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開 第2版 ヌーベルヒロカワ		
参考図書	やさしく学ぶ看護理論 医学書院 中範囲理論入門 日総研		
メッセージ	成人期はおよそ 40 年間と人間の一生の中で最も長い期間です。みなさんも成人期にあります。自分自身のことから成人期を学んでほしいと考えています。成人期の特徴や健康障害と予防対策について学びます。看護理論について学びます。成人期にある対象を理解して、2 年次の実践論へとつながります。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	I. 成人と生活 1. 対象の理解	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会における成人の定義を理解する</li> <li>2. 人が「成人」であることを自覚する状況を理解する</li> <li>3. 成長発達段階における成人期の位置づけを理解する</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯発達の特徴</li> <li>1) 「成人の定義」</li> <li>2) 「成人」であることの自覚</li> <li>3) 発達とは</li> <li>2. 発達段階・発達課題</li> <li>1) エリクソン</li> <li>2) ハヴィガースト</li> </ol>	講義	
2	2. 成人各期の発達段階の特徴	「成人」の特徴を概観できる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「成人」の特徴</li> <li>1) 身体的特徴</li> <li>2) 精神的特徴</li> <li>3) 社会的特徴</li> </ol>	講義	

3	3. 対象の生活	1.成人の日常生活の共通性を理解する 2.成人の生活スタイルの多様性を理解する 3.成人の生活と QOL を理解する	1.生活とは何か 2.働いて生活を営むこと 3. 生活の場	講義	
4	II. 生活と健康 1. 成人を取り巻く環境と生活から見た健康 2. 生活と健康をまもりはぐくむシステム	1.成人期の生活習慣と健康障害の関連を理解する 2.成人が健康障害に関連して生活習慣を維持・変容する際の葛藤を理解する 3.生活習慣の予防と治療に関わる保健医療政策を理解する	1. 成人を取り巻く環境と生活から見た健康 1) 成人を取り巻く環境と生活の状況 (1) 成人を取り巻く環境 (2) 成人のライフスタイルの特徴 2) 成人の健康の状況 (1) 生と死の動向 (2) 受療状況 (3) 生活習慣病 2. 生活と健康をまもりはぐくむシステム 1) 健康増進・生活習慣病対策 (1)生活習慣病対策 (2)健康観についての最近の動向 (3)健康日本 21 (4)健康増進法 (5)新健康フロンティア戦略 (6)がん対策基本法 (7)特定健康診査と特定保健指導 (8)スマートライフプロジェクト	講義	
5			成人のライフスタイルの特徴	GW	
6	III. 成人への看護アプローチの基本	1.成人の学習の特徴を理解する 2.成人教育学の概念を理解する 3.成人が学習する意義について理解する 4.成人の健康レベルと学習方法について理解する 5.成人の学習スタイルを理解する。	1.大人の学習 2.成人教育学の概念（アンドラゴジーモデル） 3.おとなの学びの目標 4.健康状態と学習方法の関係 5.エンパワメントエデュケーション	講義	
7	IV.ヘルスプロモーションと看護	1.ヘルスプロモーションとはについて考えることができる 2.ヘルスプロモーションの目標がわかる 3.ヘルスプロモーション活動のプロセスと方法がわかる 4.事例でヘルスプロモーション活動について考える	1.ヘルスプロモーションと看護 1)ヘルスプロモーションとは 2)ヘルスプロモーションの目標 3)ヘルスプロモーション活動のプロセスと方法 4) 事例で考えるヘルスプロモーション活動	講義	

8	V.健康をおびやかす要因と看護 1) ストレスと健康生活 2) 職業に関連する健康障害 3) 生活行動がもたらす健康問題とその予防	1.成人期の生活ストレスと健康障害の関連を学ぶ 2.職業に関連する健康障害について学ぶ 3.健康をはぐくむための保健医療政策と看護師の役割について学ぶ	1.ストレスと健康生活 1) ストレス 2) ストレスとその対処 2.成人の生活ストレス 3.ストレス関連疾患を考慮した対応 4.職業における健康障害 1) 生活習慣病、ストレスによる精神疾患、職業性疾病 2) 職業性疾病の予防 5.健康に関する政策・法律 1) 労働を守る法律 2) 労働衛生管理・安全衛生管理 3) 産業スタッフとの連携 4) 産業看護師の活動	講義	
9		4.生活行動がもたらす健康問題について学ぶ	1.酒・喫煙・身体活動量低下と運動不足・肥満がもたらす健康問題 2.健康問題とその予防について考える	GW	
10	VI.身体機能の変調に 応じた看護	1.症状別看護、疾患別・治療別、健康レベル・経過別看護、機能障害別看護の考え方を理解する 2.健康障害の経過から病期が判断できる	1.医学的知識を応用した身体機能の理解に基づく看護 1) 系統別看護 2.身体の変調に合わせた看護 1) 症状別看護 2) 疾患別・治療別看護 3) 健康レベル、経過別看護	講義	
11	VII 人生の最期の時を支える看護	終末期における看護を理解する	1.終末期医療の現状 1) エンド・オブ・ライフ・ケア 2) アドバンス・ケア・プランニング 2.終末期医療における3つの概念 1) ターミナルケア・ホスピスケア・緩和ケア 3.人生の最期の時を過ごしている人の理解 4.終末期における倫理的問題 5. 人生の最期の時を支える看護	講義	緩和ケア認定看護師
12	VIII. 慢性病との共存を支える看護	1.アギュララの危機モデルの概略を学ぶ 2.フィンクの危機モデルの概略を学ぶ 3.病みの軌跡の概略を学ぶ 4.自己効力感について考える	1.アギュララの危機モデル 2.フィンクの危機モデル 3.病みの軌跡の概略 4.自己効力	講義	
13	オレム看護理論	1.オレム看護理論の概略を学ぶ	3.オレム看護理論 1) セルフケア論 2) セルフケア不足論 3) 看護システム	講義	
14	ロイ適応理論	1.ロイの適応理論の概略を学ぶ	4.ロイの適応理論	講義	
15			終講試験		